

MONITOUCH

V-SFT-5バージョンアップ情報

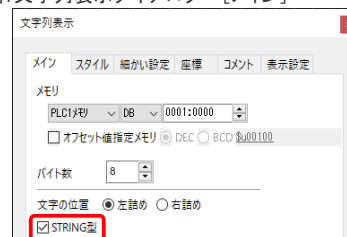


V-SFTバージョン	5.4.49.0		
本体プログラムバージョン	TS2060 : 2.360	V8(N) : 2.360	V7 : 1.930
	V6 : 1.930	V606e : 1.940	

バージョンアップ内容

接続	1. 接続可能機種追加 : 富士電機 SPH5000M 対応機種 : TS2060/V8(N) 接続機種 : 富士電機 MICREX-SX SPH/SPB/SPM/SPE/SPF シリーズ MICREX-SX SPH/SPB/SPM/SPE/SPF CPU MICREX-SX(Ethernet) MICREX-SX(Tリンク) MICREX-SX(SXバス)
接続	2. 接続可能機種追加 : 日立製作所 HIDIC-S10/ABS 対応機種 : TS2060/V8(N) 接続機種 : 日立製作所 HIDIC-S10/ABS
接続	3. 接続可能機種追加 : 神港テクノス PCA1シリーズ 対応機種 : TS2060/V8(N) 接続機種 : 神港テクノス PCA1シリーズ
接続	4. 接続機種仕様拡張 : BECKHOFF ADS プロトコル(Ethernet) KeepAlive対応 対応機種 : TS2060i/V8i(N) 接続機種 : BECKHOFF ADS プロトコル(Ethernet) タグ ADSプロトコル(Ethernet)
接続	5. Panasonic製ネットワークカメラ 対応機種追加 対応機種 : TS2060i/V8i(N) カメラ機種 : BB-SW172A
機能	6. Siemens S7-1200/1500(Ethernet ISOTCP) STRING型 対応 対応機種 : TS2060i/V8i(N) 接続機種 : Siemens S7-1200/1500(Ethernet ISOTCP) 【概要】 PLC側にてデータ種別をSTRING型に定義したDBデバイスの読み書きに対応します。 各対応アイテムに「STRING型」の設定が必要です。 【対応アイテム】 ・文字列表示 ・表形式データ表示の文字列表示 ・データサンプリングの文字列表示(表示領域) ・バッファリングエリア:アラームのパラメータテーブル ・バッファリングエリア:トレンド

例: 文字列表示ダイアログ[メイン]

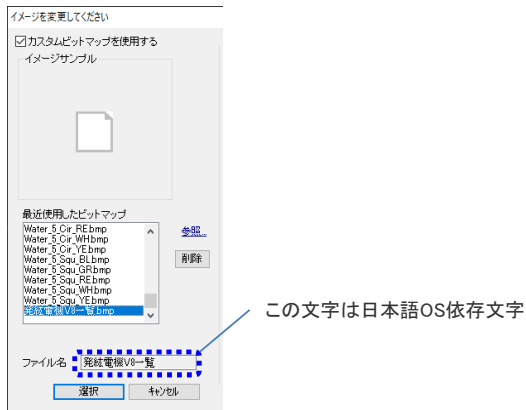


7. イメージファイル名のUnicode対応

【概要】

スイッチやランプなどのパーツに、ユーザが用意したビットマップファイルを使用できます。このファイル名をUnicodeで扱えます。OSに依存した文字を使用した場合でも、他の言語OSで文字化けすることなく、使用できます。また、エラーチェックでOS依存文字を使用したファイル名の使用箇所が特定できるため、使用自体を防ぐこともできます。

例：日本語OSのパソコン スイッチにファイル名「発絨電機V8一覧.bmp」を使用した場合



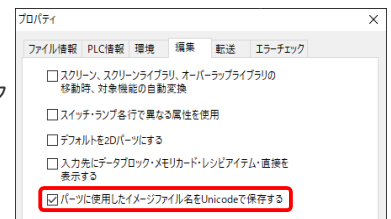
【対象】

パーツ（[カスタムビットマップを使用する]選択時）

【設定箇所】

[ファイル]→[プロパティ]→[編集]→[パーツに使用したイメージファイル名をUnicodeで保存する]にチェック

- * 既に画面データ上、複数の箇所にOS依存文字のイメージファイル名が存在する場合、このチェックを入れることをお勧めします。



【イメージファイル名にOS依存文字があるか検索する場合】

[ツール]→[エラーチェック]

- * [ファイル]→[プロパティ]→[エラーチェック]→[パーツのイメージファイル名のOS依存文字を検出する]のチェックが必要（デフォルト：チェックあり）

